

2020年8月7日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 執行役員 野澤 克巳
 (コード番号 7523)
 問合せ先 取締役執行役員 経営企画室長 樋口 弘司
 (TEL 03-5783-7171)

業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績につきまして、今般その見通しを得ましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	3,200	500	500	80	7.60
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	4,440	1,090	866	559	48.37

(2) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	7,300	1,100	1,100	300	28.51
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	8,770	1,994	1,798	1,157	99.82

2. 公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日の2020年3月期連結業績公表時点では、不確定要素が大きく、新型コロナウイルス感染症拡大が連結業績に与える影響を合理的に算出することが困難であったため、「精査中(未定)」としておりました。

依然として新型コロナウイルス感染症の影響は不透明であり、連結業績予想を正確に算出することは困難ではありますが、現時点で入手可能な情報や一定の前提等に基づき算出した結果として、本日公表するものであります。

2020年5月7日付「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響による売上高減少の可能性の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、2020年4月、5月においては、主力の版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業を余儀なくされ、大きく売上減少の影響を受けましたが、緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開しております。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、2020年4月、5月においては、主力の版画等の展示販売会の開催中止を余儀なくされ、大きく売上減少（前年同四半期に対して500百万円程度の契約高の減少）（注）の影響を受けましたが、緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開してまいりました。

現況におきましては、従前と比較しましても、より多くのお客様に催事会場にお越しいただいており、おおよそ回復してきております。当社といたしましては、感染防止対策を徹底した上で、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本全体に閉塞感漂う中、アートに込められた力により「癒し、希望、元気」といったメッセージを一人でも多くの方に広めてまいります。

（注）版画等の販売の売上計上基準は発送を基準としております。版画等の展示販売会においてご契約いただき、その後数カ月から1年にかけて、発送をしているため、当第1四半期連結累計期間の売上減少は契約高の減少と比較して小さくなっております。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業（以下、クレジット事業といいます）を中心に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等により、当社及び一般加盟店の営業に影響がでたことにより、クレジット事業の新規の立替高は前年同四半期に対して600百万円程度の減少となっております。（注）

（注）割賦あっせん収益（売上高）は、クレジットの分割回数（最長60か月）にわたって計上されます。よって、新規立替高の減少の影響は、同期間の売上高の減少に影響いたします。

◆健康産業事業

ホットヨガ事業・フィットネス事業におきましては、2020年4月、5月においては、店舗の休業を余儀なくされ、大きく売上減少の影響を受けましたが、緊急事態宣言（休業要請）が解除された後は、感染防止対策を徹底したうえで、営業を再開してまいりました。緊急事態宣言中より、会員様の休会も多く発生しており、徐々に回復はしてきておりますが、従前どおりには戻っておりません。感染防止対策を徹底した上で、休会の復会・退会防止・新規会員の獲得を行い、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいります。

（新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響及び当該事象による今後の事業等のリスクについて）

当該事象による今後の事業等のリスクにつきましては、緊急事態宣言（休業要請）等により、催事（イベント等）の開催制限や施設の使用制限等が再度発生した場合には、版画の展示販売会の開催中止、ホットヨガ事業・フィットネス事業の店舗の休業の発生により、売上高が減少する可能性がございます。

今後の状況の変化によって、今期の連結業績予想に関して開示すべき重要な事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上